

2021年度人間社会科学研究科入試問題（第1次）

社会学（出題意図及び解答）

（社会創成専攻 人文社会コース一般入試A）

1. 社会学的な視点からものごとを論じる力を問いました。
2. 社会学で使われる基本的な用語についての知識を問いました。
3. 専門的文献を読むために必要な英語読解力を問いました。

解答例

はじめに、セックスがあり、ジェンダーがあった。1960年代後半、1970年代初頭にその領域についてコース（課程）で教えられた私たちは、それぞれを区別することに注意を払った。私たちは、セックスは生物学、すなわち解剖学、ホルモン、生理学に帰せられるものと学生に教えた。私たちは、ジェンダーは地位、すなわち心理学的、

文化的、社会的な手段を通して構築されるものと言った。二つの間の違いを紹介するために私たちは、両性具有や「奇妙でエキゾチックな部族」についての人類学的調査の珍しい事例を利用した。

各学期の数週間で、必ず（そしてもっともなことなのだが）、私たちの学生は混乱してくるのだった。セックスは、その帰属の基準として、時に曖昧で、そしてしばしば相矛盾するものを示した研究の文脈からは、とても「先天的なもの」のように思えなかった。ましてジェンダーは、私たちが学んだ人類学的、心理学的、そして社会的要請の文脈—分業、ジェンダー・アイデンティティの形成、男性への女性の社会的従属—からは、「後天的」とは思えなかった。さらに、ジェンダーの社会化理論について一般に受け入れられた学説は、ジェンダーが「後天的に達成される」ものであるが、5歳までにそれはある程度固まり、変化しなくなり、静止している—セックスとそっくりだ—という、強いメッセージを伝えたのだった。